

科目名： 地域・在宅看護論概論Ⅰ (暮らしと健康)		単位数：1	担当者（実務経験）： ① 専任教員（臨床実 務経験有）	総時間数（回数）： 15（8）	時期： 1 年前期
科目目標： ・在宅看護の目的と概念を理解する。 ・在宅看護に対する社会のニーズを理解する。 ・在宅看護に求められる役割を理解する。 ・暮らしとは何かを理解する。 ・暮らしが健康に及ぼす影響を理解する。 ・療養者を支える家族にとその看護を理解する。 ・地域包括ケアシステムを理解する。 ・地域で暮らす人々を支える助け合いについて理解する。 ・暮らしにおけるリスクとそのリスクマネジメントについて理解する。					
回	単元	単元目標と内容		方法	学習範囲
				担当	事前課題
1 2	人々の暮らしと地域・ 在宅看護論	1.人々の暮らしの理解 ・暮らしとは ・暮らしと健康の関係 ・暮らしのなかで健康をとらえる ・暮らしインタビュー 2.地域・在宅看護の役割 ・地域・在宅看護の基盤となる考え方 ・地域・在宅看護に求められる役割 3.共生社会の実現 ・医療的ケア児の学校生活 YouTube 動画視聴 ～ももちゃんのいる教室～		講義 ① GW	教科書① 第1章 動画 ＜事前学習＞ 教科書 P.12～25 読む ワーク1 暮らしを比べて みよう
3	暮らしの基盤としての 地域の理解	1.暮らしと地域 ・地域の定義 ・人々の暮らす地域の多様性 2.暮らしと地域を理解するための考え方 ・システム理論 ・システム思考 3.地域包括ケアシステムと地域共生社会 ・地域包括ケアシステム		講義 ①	教科書① 第2章 ＜事前学習＞ 教科書 P.32～49 読む
4 5	地域・在宅看護の対象 者	1.地域・在宅看護の対象者 ・地域による多様性 ・ライフステージによる多様性 ・健康レベルの多様性 2.家族の理解 ・わが国における家族の現状 ・わが国における家族とその変遷 ・地域・在宅看護の対象としての看護		講義 ①	教科書① 第3章 ＜事前学習＞ 教科書 P.58～93 読む 教科書③ 保健統計

6 7	地域における暮らしを支える看護	1.暮らしを支える地域・在宅看護 ・「暮らしを支える看護」とは ・「暮らしを支える看護」の実践 2.暮らしの環境を整える看護 ・暮らしに関連する環境 ・暮らしの環境を整える看護とは ・看護師に求められる態度・知識・姿勢 ・環境を整える看護の意義 3.広がる看護の対象者と提供方法 ・健康に対する人々のニーズ ・看護の実践方法の広がり ・人々の健康ニーズにこたえる看護 ・健康ニーズを支える看護の実践例 4.地域における家族への看護 ・地域における家族への看護とは ・家族を支援する看護師の基本的な姿勢 5.地域におけるライフステージに応じた看護 ・ライフステージと人々の暮らし ・ライフステージによる健康課題と予防 ・疾病とライフステージ ・家族とライフステージ 6.地域での暮らしにおけるリスクの理解 ・暮らしにおけるリスクの理解 ・暮らしにおけるリスクの種類 ・できる限り安全に暮らし続けるための援助 7.地域での暮らしにおける災害対策 ・暮らしと災害・地域・在宅看護と災害対策	講義 ①	教科書① 第4章 ＜事前学習＞ 教科書 P.104～ 141 読む
8	終講試験		筆記試験①	
教科書		評価方法		
教科書 ①（系看）地域・在宅看護の基盤 （医学書院：eテキスト） 地域・在宅看護論1 ②看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術論 （メヂカルフレンド社） ② 公衆衛生がみえる （メディックメディア）		終講試験 100点		
		評価基準 60点以上を合格とする。		

科目名：		単位数：1	担当者（実務経験）： ① 専任教員（臨床実 務経験有） ② 応援教員 7 名	総時間数（回数）： 30（15）	時期： 1 年次前期
地域・在宅看護論概論Ⅱ （生活環境と健康）					
科目目標： ・地域特性について理解することができる。 ・地域で生活する人々の実際を理解することができる。 ・地域で暮らす人々を取り巻く環境について理解することができる。 ・地域の生活環境が人々の健康に与える影響について理解できる。					
回	単元	単元目標と内容		方法 担当	学習範囲 事前課題
1	フィールドワークのオリエンテーション	・フィールドワークの方法と注意事項について理解できる。		講義①	①実施要項
2 3	人々の生活と環境	・地域とは何かを理解することができる。 ・地域で生活する人々と環境とは何かを理解できる。 ・地域で生活する人々を生活者として捉える必要性について理解することができる。		講義① GW	②教科書
4 5	地域特性のアクセスメント	・地域特性を理解するための『コミュニティ・アズ・パートナーモデル』の概念を理解することができる。 ・『コミュニティ・アズ・パートナーモデル』を用いて既存の資料から地域の特性について調べることができる。		講義①	③コミュニティ・アズ・パートナーモデル（配布資料）
6 7	『地区視診のガイドライン』に基づいた行動計画の立案	・『地区視診のガイドライン』を用いた地区踏査の必要性について理解できる。 ・『地区視診のガイドライン』を活用し、フィールドワークに向けて行動計画を立案することができる。		講義① GW ①	④地区視診のガイドライン（配布資料）
8 9 10 11	フィールドワーク	・フィールドワークを通して、地域で暮らす人々と生活環境が健康に与える影響について理解することができる。		フィールドワーク①②	
12 13	フィールドワークのまとめ	・既存資料から得た地域特性とフィールドワークで得た情報を統合し、人々と環境について理解することができる。		GW①②	
14 15	発表	・フィールドワークでの学びを発表することができる。		発表①②	
教科書（参考資料） ①実施要項 ②コミュニティ・アズ・パートナーモデル 地区視診のガイドライン 参考文献 ① 地域・在宅看護の基礎（医学書院） ② 地域・在宅看護の実践（医学書院） ③ 公衆衛生がみえる（メディックメディア）				評価方法 ＜個人評価＞ 70 点 ①グループ活動 ②調べ学習 ③地区踏査資料 ④まとめレポート ⑤出席状況 ＜グループ評価＞ 30 点 ①発表内容 ②発表資料	
				評価基準 60 点以上を合格とする。	

52 回生シラバス

科目名： 地域・在宅看護論概論Ⅲ (多様の場の看護)		単位数：1	担当者： ① 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30（15）	時期： 1 年前期
科目目標： ・地域で療養する人の持つ多様な特性と療養の場で行われる看護について理解する。 ・療養者を支える家族の特性と家族看護について理解する。 ・訪問看護制度について理解する ・介護保険制度とケアマネジメントについて理解する。 ・在宅ケアを支える制度や社会資源、多職種の連携について理解する。 ・初回訪問看護演習を通して看護師のマナーと信頼関係を構築するプロセスを理解する。 ・在宅看護における終末期看護について理解する。					
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲	
			担当	事前課題	
1	生活と健康を支える 地域・在宅看護	1.在宅看護の定義と位置づけ ・在宅看護の目的 ・在宅看護の特徴 ・在宅看護の機能 ・在宅看護の役割 2.在宅看護の基本姿勢 ・パートナーシップに基づく関係づくり ・療養者・家族の価値観の尊重 ・時間の経過に変化にともなう予測 ・多職種を調整する技術と情報を得る技術 ・療養者・家族の強みを引き出す支援 3.在宅看護の倫理 ・倫理原則 ・倫理的課題	講義 教材 DVD ①	教科書① 第 5 章 ＜事前学習＞ 教科書 P.144～ 161 を読む	
2	療養の場の移行	1.療養の場の移行が求められる背景 ・地域完結型医療への転換 2.退院支援 ・在宅療養移行期における意思決定の支援 ・退院支援を支える職種 ・退院調整 ・地域連携クリティカルパス ・退院支援を必要とする患者の特徴 ・退院支援のプロセス 3.多機関との連携 ・地域との連携 ・医療施設や介護施設との連携	講義 ①	教科書① 第 5 章 ＜事前学習＞ P.144～162 を 読む	
3	地域・在宅看護の実践 の場	1.医療機関で提供される看護 ・外来看護の機能 2.「住まい」で提供される看護 ・訪問系サービス ・通所系サービス ・短期入所系サービス ・複合型サービス 3.「施設」で提供される看護	講義 ①	教科書① 第 5 章	

4	地域包括ケアシステム	1.地域包括ケアシステム ・必要とされる背景 ・構成要素 ・共生社会の実現 2.地域包括支援センター ・機能 ・業務内容 3.地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携 ・行政との連携 ・地域包括支援センターとの連携 ・介護支援事業との連携 ・介護サービス事業所との連携 ・地域住民との連携と見守り・SOS ネットワーク	講義①	教科書① 第2章 P.45～49
5 6 7	地域・在宅看護の関わる制度とその活用	1.介護保険・医療保険制度 ・介護保険制度 ・医療保険制度 2.地域・在宅看護にかかわる医療提供体制 3.訪問看護の制度 ・訪問看護制度の歩み ・訪問看護の対象者の特徴 ・訪問看護の利用者と訪問回数 ・訪問看護ステーションに関する規程 ・訪問看護の利用までの手順 ・訪問看護の費用 ・訪問看護サービスの提供 ・ケアマネジメントの社会資源の活用 4.地域保健にかかわる法制度 5.高齢者に関する法制度 6.障害者・難病に関する法制度 7.公費負担医療に関する法制度 8.権利保障に関する制度	講義①	教科書① 第6章 岡山市介護保険パンフレット ＜事前学習＞ 教科書 P.168～209 を読む 教科書④ 介護保険 在宅医療 障害者福祉
8	意思決定の支援	1.在宅看取り ・在宅での看取りの背景と考え方 ・意思決定の支援 ・ACP とは ・もしバナゲーム	講義① 演習(もしバナゲーム)	教科書③ 第5章 ＜事前学習＞ 教科書 P.378～381 を読む
9 10	地域・在宅看護の展開	1.地域・在宅看護における看護過程 ・看護過程とその意義 ・地域・在宅看護における看護過程の基本 ・地域・在宅看護における看護過程の展開 2.地域・在宅看護過程の展開方法 ・地域・在宅看護過程の特徴 ・地域・在宅看護過程における情報収集とアセスメント ・地域・在宅看護過程における看護目標の設定・計画 ・地域・在宅看護の実施と評価 ・地域・在宅看護の標準化に向けた取り組み 3.訪問看護の実際	講義①	教科書② 第1章 ＜事前学習＞ 教科書 P.12～48 を読む

		DVD 視聴 「いのちと生活を見護る訪問看護サービス」		
11	療養上のリスクマネジメント	1.リスクマネジメント ・在宅看護におけるリスク ・在宅でのリスクの特徴 2.在宅で起こりやすいリスク ・転倒 ・転落 ・熱中症 ・窒息 ・薬物 ・感染 3.災害に対する準備と対応	講義①	教科書② 第2章 ＜事前学習＞ P.70～85
12	初回訪問看護演習 —事例提示 —シナリオ作成	1.在宅看護の基本姿勢 ・在宅看護を行う専門職としての姿勢・態度 ・服装・持ち物 ・療養者・家族との関わり 2.セルフケアを支える対話・コミュニケーション ・対象者と看護師とのパートナーシップ ・対象者と看護師の対話・コミュニケーション	講義① GW	教科書② ＜事前学習＞ p.50～61 教科書③ 第1章 ＜事前学習＞ P.9～14 を読む
13 14	初回訪問看護演習 —発表	1.ロールプレイ ・訪問前の準備 ・訪問看護のマナー ・在宅で看護を提供すること ・訪問バック	ロールプレイ	
15	終講試験		筆記試験①	
教科書		評価方法		
教科書 ①（系看）地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1（医学書院：eテキスト） ②（系看）地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論2（医学書院：eテキスト） ③看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術論 （メヂカルフレンド社） ④公衆衛生がみえる（メディックメディア） 教材 DVD 「いのちと生活を見護る訪問看護サービス」 岡山市介護保険パンフレット		終講試験（筆記試験） 100点		
		評価基準 60点以上を合格とする。		

担当者①実務経験あり

科目名： 地域・在宅看護援助論Ⅰ (看護過程)		単位数：1	担当者（実務経験）： ①専任教員 (臨床実務経験有)	総時間数（回数）： 15（8）	時期： 2 年前期
科目目標： ・在宅看護過程について理解する。 ・状態に応じた療養者と家族の看護について理解する。					
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲	
			担当	事前課題	
1	在宅看護過程とは 事例提示	・在宅看護過程のポイントについて学習する。 ・生活を基盤にした全体像の捉え方 ・療養者の望みを中心としたアセスメント	講義 ①	教科書① 第1章 ＜事前学習＞ 事例に関する 基礎学習	
2	看護過程の展開 情報整理と解釈 看護過程の展開 アセスメント	・状態別在宅療養者の看護過程について学習する。 ・事例ごとに看護過程を展開する。 ・療養者の情報の整理と解釈をする 1. 脳卒中後遺症のある高齢者の在宅看護過程 2. ALS療養者の在宅看護過程 3. 認知症高齢者の在宅看護過程 4. 小児の療養者の在宅看護過程 5. 統合失調症の在宅看護過程 6. がん終末期状態にある療養者の在宅看護過程 7. 糖尿病療法の在宅看護過程 8. パーキンソン病の在宅看護過程 ・療養者の望みを実現するための情報を4側面からアセスメントする	講義 GW ①	事例	
3	看護過程の展開 関連図の作成	・療養者の望みを中心にした関連図を作成する	講義 GW ①	資料	
4	看護過程の展開 援助計画の立案	・療養者の望みを実現するための援助計画を立案する	講義 GW ①	資料	
5 6 7	看護過程の展開 看護過程の発表	・グループごとに看護過程の発表を行う	発表 ①		
8	終講試験	筆記試験			
教科書				評価方法	
教科書 ①（系看） 地域・在宅看護論の実践 地域・在宅看護論2 （医学書院：eテキスト） ②看護実践ための根拠が分かる 在宅看護技術 (メヂカルフレンド社)				終講試験（筆記試験） 90 点 グループワーク 看護過程 10 点	
				評価基準 60 点以上を合格とする。	

科目名： 地域・在宅看護援助論Ⅱ (在宅療養を支える技術)		単位数：1	担当者： ① 専任教員(臨床実務経験有)	総時間数(回数)： 30(15)	時期： 2年前期
科目目標： ・療養者の療養生活を支える日常生活援助技術について理解する。 ・在宅看護に必要な医療的管理の方法について理解する。 ・療養者の自立を支える福祉用具の多様性と実際を理解する。 ・シミュレーション学習を通して、療養環境や療養者の状態に応じた看護を創造する力を養う。					
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲 事前課題	
			担当		
1	在宅酸素療法 (HOT)	・HOTに関する医療的管理の支援について学習する。 1.在宅酸素療法における看護技術の特徴 2.在宅酸素療法の適応 3.在宅酸素療法を受ける対象者の特徴 4.在宅酸素療法の効果 5.在宅酸素療法導入支援 6.在宅酸素療法を受ける療養者への日常生活支援 7.看護技術の実際	講義 デモスト (酸素濃縮器、経緯用)	教科書① 第Ⅳ章-V ＜事前学習＞ 肺の解剖生理・COPDの病態生理復習 教科書 P.214～225 読	
2	在宅人工呼吸療法	・在宅人工呼吸療法について学習する。 1.在宅人工呼吸療法における看護技術の特徴 2.在宅人工呼吸療法の適応 3.在宅人工呼吸療法を受ける対象者の特徴 4.在宅人工呼吸療法を用いる人工呼吸器の種類と特徴 5.在宅人工呼吸療法導入の支援 6.看護技術の実際	講義 デモスト (NIPネーザル) ①	教科書① 第Ⅳ章-VI ＜事前学習＞ 教科書 P.226～240 読む	
3	輸液管理 (在宅中心静脈栄養法・HPN)	・HPNに関する医療的管理の支援について学習する。 1.中心静脈栄養法の定義と適応 2.中心静脈栄養法の種類と特徴 3.中心静脈栄養法に関する合併症 4.在宅中心静脈栄養法導入支援 5.看護技術の実際	講義 デモスト (輸液ポンプ) ①	教科書① 第Ⅳ章-Ⅲ ＜事前学習＞ 教科書 P.191～201 読む	
4	在宅経腸栄養法 (HEN)	・在宅経腸栄養法に関する医療的管理の支援について学習する。 1.在宅経腸栄養法の適応 2.経腸栄養法の種類と特徴 3.経腸栄養法に関する合併症 4.在宅経腸栄養法の導入支援 5.看護技術の実際		教科書① 第Ⅳ章-Ⅳ ＜事前学習＞ 教科書 P.202～213 読む	
5	褥瘡管理	・褥瘡に関する医療的管理の支援について学習する。 1.在宅療養における褥瘡ケアの特徴 2.褥瘡の発生要因と分類 3.褥瘡予防のリスクマネジメント 4.褥瘡の予防的ケアと発生後のケア 5.看護技術の実際	講義 ①	教科書① 第Ⅳ章-XI ＜事前学習＞ 教科書 P.296～316 読む	

	膀胱留置カテーテル ストーマ（人工肛門・人工膀胱）	・膀胱留置カテーテルに関する医療的管理の支援について学習する。 1.在宅での膀胱留置カテーテルの管理の特徴 2.膀胱留置カテーテルに起因する問題の予防と対応 3.非侵襲的カテーテル及び清潔間欠導尿 4.看護技術の実際 ・ストーマに関する医療的管理の支援について学習する。 1.在宅看護におけるストーマケアの特徴 2.ストーマの種類と特徴 3.ストーマ用装具の種類と使用方法 4.在宅におけるストーマケアへの支援 5.看護技術の実際		教科書① 第Ⅳ章-Ⅶ ＜事前学習＞ 教科書 P.241～251 読む 教科書① 第Ⅳ-Ⅷ ＜事前学習＞ 教科書 P.252～268 読む
6	連続携行式腹膜灌流（CAPD）	・CAPDに関する医療的管理の支援について学習する。 1.在宅での腹膜透析における看護技術の特徴 2.在宅での腹膜透析導入支援 3.看護技術の実際	講義 ① デモスト (COPD)	教科書① 第Ⅳ-Ⅸ ＜事前学習＞ 腎臓の解剖生理・慢性腎不全の病態生理復習 教科書 P.269～281 読む
7	疼痛管理（在宅持続皮下注法） 外来がん治療の支援	・疼痛管理に関する医療的管理の支援について学習する。 1.在宅看護における疼痛管理の特徴 2.痛みの定義 3.痛みのアセスメント技術 4.在宅における痛みの目標設定 5.在宅における痛みのマネジメント技術 ・外来がん治療の支援について学習する。 1.外来がん治療支援の基本 2.外来がん薬物療法を受ける療養者の支援 3.外来がん放射線療法を受ける療養者の支援	講義 ①	教科書① 第Ⅳ章-13 ＜事前課題＞ 教科書 P.325～335 読む 教科書② 第Ⅵ章-Ⅸ ＜事前課題＞ 教科書 P.289～296 読む
8 9	きらめきプラザ 見学	・福祉用具の実際について理解できる。 ・療養者の自立を支える支援について考えることができる。 ・福祉用具の多様性と療養者の健康状態について理解できる。	見学 ①	
10 11 12 13 14	療養生活支援 ー食の援助	・食のアセスメントと援助の実際について学習する。 1.在宅療養者の食事における看護技術の特徴 2.在宅療養者への食事支援と介護者への教育指導 3.嚥下障害がある場合の食事介助のポイント 4.看護技術の実際	講義 GW ① シミュレーション	教科書① 第Ⅲ-I ＜事前課題＞ 夏期休暇課題 博子さんに美味しい食事をつくろう 教科書 P.86～96

	－排泄の援助 ・排泄のアセスメントと援助の実際について学習する。 1.在宅療養者の排泄における看護技術の特徴 2.排泄用具の活用 3.看護技術の実際 －清潔の援助 ・清潔のアセスメントと援助の実際について学習する。 1.在宅での清潔と衣生活における看護技術の特徴 2.在宅療養における清潔行為の考え方と援助方法 3.在宅療養における衣生活の援助方法 4.看護技術の実際「入浴・シャワー浴の介助」 －移動の援助 ・移動・移乗のアセスメントと援助の実際について学習する。 1.在宅療養の活動における看護技術の特徴 2.活動への援助に関するアセスメント 3.活動への援助にあたっての留意事項 4.在宅療養者の活動における看護技術の特徴 5.睡眠メカニズム 6.睡眠への援助に関するアセスメント 7.看護技術の実際 －服薬管理 ・服薬に関する在宅看護技術の特徴について説明できる 1.在宅看護における薬物療法と服薬管理の特徴 2.在宅での薬物療法と服薬管理に必要な援助 3.看護技術の実際		教科書① 第Ⅲ章-Ⅱ ＜事前課題＞ 教科書 P.97～108 読む 教科書① 第Ⅲ章-Ⅲ ＜事前課題＞ 教科書 P.109～131 読む 教科書① 第Ⅲ章-Ⅳ ＜事前課題＞ 教科書 P.132～152 教科書① 第Ⅳ-XI ＜事前課題＞ 教科書 P.317～324
15	終講試験	筆記試験	①
教科書		評価方法	
教科書 ①看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術（メヂカルフレンド社） ②（系看） 地域・在宅看護論の実践 地域・在宅看護論2 （医学書院：eテキスト） 教材（参考DVD） DVD①訪問看護シリーズ Vol.1－褥瘡ケア・尿道カテ・在宅経管栄養－ DVD②訪問看護シリーズ Vol.2－在宅中心静脈栄養・在宅酸素療法・在宅人工呼吸療法・在宅ターミナルケア－ 教材 シミュレーター		終講試験（筆記試験） 配点 80 点 夏期休暇レポート 配点 5 点 グループワーク 配点 10 点 見学レポート 配点 5 点 （内容の不足や提出期限が守れなかった場合減点あり）	
		評価基準 60 点以上を合格とする。	

担当者①実務経験あり

科目名： 単位数：1		担当者：	総時間数（回数）：	時期：
地域・在宅看護援助論Ⅲ (ケアマネジメント)		① 専任教員(臨床実務経験有)	15 (8)	2 年後期
科目目標： ・在宅ケアにおけるケアマネジメントのプロセスについて理解する。 ・ケアマネジメントの演習を通して、在宅看護における看護師の役割が理解できる。 ・地域包括支援センターの役割を理解することができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	ケアマネジメントとは	・介護保険下でのケアマネジメントについて学習する ・ケアマネジメントの過程について学習する	講義 GW ①	教科書① 第6章 岡山市介護保険パンフレット ＜事前学習＞ P.358～380 事例に関する基礎学習
2	ケアマネジメント過程 インテーク アセスメント ケアマネジメント過程 ケアプランの作成	・ケアマネジメント演習を通してケアマネジメントを学習する ・ケアマネジメントのインテークとアセスメントをする ・インテークのシナリオ作り ・ケアプランについて学習する ・ケアプラン（原案）の作成をする	講義 GW ①	教科書① 第6章 教科書③ 介護保険
3	ケアマネジメント過程 サービス担当者会議	・サービス担当者会議について学習する ・サービス担当者会議のシナリオ作り	講義 GW ①	教科書① 第6章
4 5	ケアマネジメント モニタリング 再アセスメント	・モニタリングと再アセスメントについて学習する ・モニタリングのシナリオ作り	講義 GW ①	教科書① 第6章
6 7	ケアマネジメント演習 発表	・グループごとにケアマネジメントの発表を行う	発表 在宅看護実習室 ロールプレイ ①	
8	終講試験	筆記試験		
教科書			評価方法	
教科書 ①（系看） 地域・在宅看護論（医学書院：eテキスト） ②看護実践のための根拠が分かる 在宅看護技術 ③公衆衛生がみえる（メディックメディア） 教材 岡山市介護保険パンフレット			終講試験（筆記試験） 80 点 グループワーク ケアマネジメント 10 点 事後レポート 10 点	
			評価基準 60 点以上で合格とする。	

担当者①実務経験あり